

# 江戸キリシタン 徒歩巡礼

## ペトロ・カスイ岐部

### 遺跡めぐり

2004年3月20日(祭)

日本司教団が列福運動推進中の188殉教者のひとりペトロ・カスイ岐部神父の受難の跡を歩きます。キリシタン史研究者として著名な高木先生の同行解説を聴き、コンプリ神父の司式によるミサで列福を祈りましょう。



**雨天決行 会費無料[事前申込み不要]**

**集合** 午前9時30分 東京駅丸の内北口 地下1階動輪の広場

**幕府評定所跡** 千代田区丸の内1丁目

**伝馬町牢屋敷跡** 中央区日本橋小伝馬町

**カトリック浅草教会** 台東区浅草橋5-20-5

**岐部神父の列福を祈るミサ、昼食(各自ご持参)**

**埋葬地** 林泉山本立寺跡

台東区元浅草4-7

**解散** 午後3時頃

**地下鉄銀座線稻荷町駅**

全行程徒歩約5km(約1時間半)

途中、地下鉄、タクシー利用も可能です

指導司祭 ガエタノ・コンプリ神父

同行説明 キリシタン史研究者 高木一雄氏

主催 江戸キリシタン巡礼実行委員会

連絡先 TEL070-5590-0890 コンプリ神父

ペトロ・カスイ岐部神父とはどんな人？  
1587年(天正15年)豊後(現大分県)で誕生、12才の頃から司祭を志したが徳川幕府の禁教令によりマカへ追放される。4年後、徒歩で日本人としてはじめてエルサレム巡礼の後、ローマへ行き司祭に叙階される。スペイン、ポルトガル、インドを経て帰国、九州、東北などで宣教中捕らえられ江戸小伝馬町で逆さ吊りにされたが信仰を捨てず殉教した。日本のマルコポーロといわれる中世日本の偉大な国際人、異色の宣教者であった。